

## 平成30年度農業委員・農地利用最適化推進委員等研修会の概要

研修会では、まず「農業委員・推進委員の現場活動について」と題して(一社)愛知県農業会議の飯田農地利用最適化推進室長から説明しました。

次に「ともに進めよう！農地利用の最適化」と題して(公財)愛知県農業振興基金(農地中間管理機構)の可知理事長から説明をいただきました。

その後、県内の先行事例として次の四つの事例を発表いただきました。

なお、発表後の意見交換では、参加者から農地利用の最適化の具体的な進め方、農地中間管理事業の仕組み等について熱心に意見が出されました。

### ① 豊田市下山地区

発表者：豊田市農業委員会 倉地雅博農地利用最適化推進委員

#### 【題名】

「今ある農地を活かし、守り、残す 農地利用最適化を進めるために(下山地区)」

#### 【要旨】

中山間地域である豊田市下山地区において、担当地区の戸別訪問、アンケート、地区座談会等を通じて、5年、10年先の課題と問題点を明らかにした上で、担い手若者の会の発足や中山間地域の持続可能な営農組織の立ち上げを進めている。



倉地委員

### ② 豊川市長沢地区

発表者：豊川市農業委員会 岡田敏昭会長

#### 【題名】

「豊川市長沢地区における農地中間管理事業の取組み」

#### 【要旨】

中間地域である豊川市長沢地区において、担い手の高齢化に対する地区の危機感を背景に、市、JA、普及課等の支援も得て地権者を構成員とする一般社団法人を設立した。今後、地権者が所有する農地を機構から法人が借り受けて、自作希望者への農作業委託等を行う予定である。



岡田会長

### ③ 田原市和地太田地区

発表者：和地太田地区事業推進委員会 河合哲志会長  
田原市農業委員会 高橋知子事務局長

#### 【題名】

「田原市「和地太田地区」の取組について」

#### 【要旨】

平坦地域にある田原市和地太田地区において、地権者、農業委員、土地改良区、機構、県等の協議調整を経て、土地改良法の改正により創設された機構連携事業を活用して水田を畑地化する基盤整備事業を具体化し、耕作放棄地の解消と担い手への集積を目指している。



河合委員会会長

#### ④ 名古屋市港区南陽地区

発表者：名古屋市農業委員会 岩田公雄会長



岩田会長

#### 【題名】

「名古屋市港区南陽地区 合意形成で水田を担い手へ集約」

#### 【要旨】

都市地域にある名古屋市港区南陽地区において、従来から主にJAが作業を受託してきた経緯を踏まえて、七つの土地改良区を始めとする関係者の合意を形成し、新たに設立されたJA会社を担い手とする人・農地プランを策定して農地中間管理事業を施行している。

○先行事例の詳細な内容につきましては、愛知県農業会議事務局農地利用最適化推進室までお問い合わせください。

#### <研修会の様子>



川上農業会議会長あいさつ



講演



事例発表



意見交換